



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2020年度 業務報告会

検査システム委員会 活動報告

2021年2月5日
検査システム委員会
委員長 藤咲 喜丈

- 今年度の事業計画
- 専門委員会、WG報告
 - ・臨床検査システム専門委員会
 - ・内視鏡部門システム専門委員会
 - ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会
 - ・放射線治療WG
 - ・検査レポート検討WG
 - ・DICOM WG
- 来年度の事業計画

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・展開強化。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

検査システム委員会主催セミナー、教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

JAHIS標類準の策定と改訂、普及活動の推進

- 「JAHIS臨床検査データ交換規約を用いた外注検査のための実装ガイド Ver.1.0」を制定。（2020年5月）
- 「JAHIS臨床検査データ交換規約を用いたPOCT実装ガイドVer.1.0a」の誤植対応・説明／事例を補足し更新。（2020年11月）
- 「JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.5.0C」 改定作業着手。

海外活動強化とJAHIS活動との連携

- IHE-PaLM 国際会議

新型コロナ影響でF2F会議は中止。Web会議は継続して参加。

下記3項目について継続議論中。

- ①SET(Specimen Event Tracking)
- ②DPIA(Digital Pathology Workflow-Image Acquisition)
- ③Digital Pathology Workflow

JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

• 標準マスターの整備

JLAC11普及促進のための課題整理と改善協力を行う目的で、「臨床検査項目標準マスター協議会」への参加を継続。

• JAHIS教育事業への協力

日時 : 2020年9月4日(月) 14:40-15:50 (検査システム)

場所 : WebEXによるオンライン勉強会

タイトル : 「検査システム」(医療情報システム入門コース)

参加 : 申込178名、アンケート回収112名

※コロナ禍で対面授業を録画によるオンライン講義に変更

- ・3人の専門家をアサイン、教材に音声、ポイント操作などを追加
(臨床検査、病理、生理機能検査)

※同コンテンツで2回目の入門コースも実施(11月13日)

PCR検査に関する
説明も追加

●独自の勉強会 2015年から6回目

日時 : 2020年11月30日(月) 15:00-18:00

場所 : WebEXによるオンライン勉強会

タイトル : 「ISO15189認定についてシステムベンダーが知っておくべき知識 ～臨床検査システムに求められること～」

参加 : 申込215名

内訳 61社(会員外3社含む)、182名(会員外6名含む)

コロナ禍の影響で
2月28日予定を変更

アンケート結果

アンケート回収 : 60名分

5つの演題の平均

- | | |
|-------------------------|-------|
| ①理解度(よく理解できた、少し理解できた) | : 98% |
| ②期待度(期待以上、期待どおり) | : 99% |
| ③業務に役立つ(大いに役立ちそう、役立ちそう) | : 87% |

アンケート結果から今回の勉強会は大成功と言える。

※今後の活動に参考になりそうな情報も収集した。

今後も臨床検査分野で有益なテーマを選定し開催する。

JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

●内視鏡検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0【新規】

先生方のご協力を賜りながら、2021年春のパブコメを目標に策定作業中



JAHIS
Association of
Healthcare
Information
Systems Industry

2021年XX月
一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 検

JAHIS
内視鏡検査レポート
構造化記述規約
Ver. 1.0

8.2. CDA ボディ部構成

JAHIS 診療文書構造化記述規約 Ver.2.0 (8.2. CDA ボディ部構成) を参照のこと。
以下、本規約で定義した 4 種類の内視鏡検査レポートのボディ部の構成を記載する。

8.2.1. 上部内視鏡検査レポート

Template : 上部内視鏡検査レポート

テンプレート	1.2.362.200270.3.2.2.1.1-Endoscopy Report (upper endoscopy)
ID	1.2.362.200270.3.2.2.1.1
バージョン	2021.XX
CDA クラス分類	CDA ドキュメントレベル テンプレート
JED 階層分類	
制約	JED Project で定義されている上部内視鏡検査レポートを記述する CDA ドキュメントレベルのテンプレート

Sch.	XPath	Card.	Conf.	注	備考
	/clinicalDocument				
	/recordTarget	1..1	M		[注4-1] 患者基本情報、参照
	/observationOf	1..1	M		[注4-1] 検査結果付与、参照
	/component/structuredBody				メインセクションまで記述
	/component	0..1	O		action[templateId@root="1.2.362.200270.3.2.1.2.1"] [注4-2] 1.2.362.200270.3.2.1.2.1 参照
	/component	0..1	O		action[templateId@root="1.2.362.200270.3.2.2.1.1"] [注4-3] 1.2.362.200270.3.2.2.1.1 参照
	/component	1..1	M		action[templateId@root="1.2.362.200270.3.2.2.1.10.1"] [注4-4] 1.2.362.200270.3.2.2.1.10.1 参照
	/component	1..1	M		action[templateId@root="1.2.362.200270.3.2.2.1.10.2"] [注4-5] 1.2.362.200270.3.2.2.1.10.2 参照
	/component	1..1	M		action[templateId@root="1.2.362.200270.3.2.2.1.10.3"] [注4-6] 1.2.362.200270.3.2.2.1.10.3 参照
	/component	1..1	M		action[templateId@root="1.2.362.200270.3.2.2.1.10.4"] [注4-7] 1.2.362.200270.3.2.2.1.10.4 参照
	/component	1..1	M		action[templateId@root="1.2.362.200270.3.2.2.1.10.5"] [注4-8] 1.2.362.200270.3.2.2.1.10.5 参照
	/component	1..1	M		action[templateId@root="1.2.362.200270.3.2.2.1.10.6"] [注4-9] 1.2.362.200270.3.2.2.1.10.6 参照

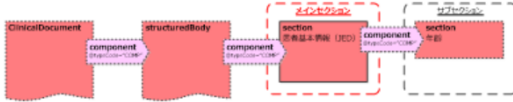
8.4. 個別セクション

本規約で定義する内視鏡検査レポート箇条のセクションについて説明する。

8.4.1. メインセクション

structuredBody の直下の component となるセクション。
JED Project で検査種別毎に定義されている基本情報のメインカテゴリとしてサブカテゴリをグルーピングするとともに、総合診断部を記述するために使用する。

8.4.1.1. 患者基本情報 (JED)



(1) 概要

(2) 患者基本情報記述 XML 仕様

表 8-1 患者基本情報 (JED) セクション記述 XML 仕様

Template : 患者基本情報 (JED) セクション

テンプレート	1.2.362.200270.3.2.2.1.1-Patient's Basic Information (JED) Section
ID	1.2.362.200270.3.2.2.1.1
バージョン	2021.XX
CDA クラス分類	CDA セクションレベル テンプレート
JED 階層分類	基本情報用メインカテゴリ
制約	JED Project で基本情報用として定義されている患者基本情報のサブカテゴリの項目をグループ化するための JED 用患者基本情報レベルのテンプレート。検査種別毎に開けず共通

Sch.	XPath	Card.	Conf.	注	備考
	/clinicalDocument/component/structuredBody/component				患者基本情報 (JED)
S	/@baseCode	1..1	F	CCCSECT	固定値。HL7 V3 スキーマで規定されているため本規約の記述は省略可能
S	/@eventCode	1..1	F	EVN	固定値。HL7 V3 スキーマで規定されているため本規約の記述は省略可能
	/templateId	1..1	M		患者基本情報 (JED) セクションテンプレート ID
	/@root	1..1	F	1.2.362.200270.3.2.2.1.1	本規約固定値
	/@extension	0..1	O		テンプレート固有の検査種別用識別文字列。別版は記載しなくてよい
	/code	1..1	M		患者基本情報用セクションコード
	/@code	1..1	M	Z110000 または 18.0 1.2.362.200270.3.2.2.10 または 2.16.840.1.113883.6.1 上段 JED 下段 LORNC	本規約固定値 または JED/LORNC
	/JED				指定したコードシステムの名称

検査システム委員会内 パブコメ用ドラフト (案)

JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C【改訂】

- JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.3（今春リリース予定）との整合性確保
- 並行して改訂を行うJAHIS 放射線データ交換規約Ver.3.2Cとの整合性確保
- 日本HL7協会発行 HL7V2.5日本語訳見直し版との整合性確保

- IHE-J コネクタソン協力

- 審査基準の改訂、審査員派遣等例年通りの協力を実施
- 今年度より新しい統合プロフィールEIA（Endoscopy Image Archiving）の審査を開始

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- JAHIS標準類の改定
「診療文書構造化記述規約共通編」の改定に伴い、個別編の「病理診断レポート構造化記述規約Ver.2.0」を改定、制定した。
- 病理・臨床細胞関連学会・研究会での普及活動
「病理診断レポート構造化記述規約」をもとに、「病理と臨床」(書籍)への執筆を行った。また、来年開催の日本病理学会でのセッションおよびIHE勉強会で本規約を説明する予定。
- デジタルパソロジー技術基準検討会
WSIの色の標準化を目的としたカラーマネジメントのため、基準カラーチャートを使用して分光特性データを取得した。データ分析中。
2021年6月頃、山口教授(東工大)のカラーマネジメント講演を予定。

海外活動強化とJAHIS活動との連携

- IHE PaLM国際Web会議
定期的に参加、下記3項目について継続議論中。
 - ①SET(Specimen Event Tracking)
 - ②DPIA(Digital Pathology Workflow-Image Acquisition)
 - ③Digital Pathology Workflow
- DICOM WG-26国際Web会議
定期的に参加、WSIコネクタソンについて議論中。

遠隔病理診断の普及促進と効率化にかかる調査研究の請負

- 総務省の事業で、遠隔病理診断の国内外の調査に協力した。

JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 事前に検討を進めていた内容を「診療文書構造化記述規約共通編Ver.2.0」制定にあわせ、その要求事項の反映する作業を継続中。
- 日本放射線腫瘍学会（JASTRO）とも連携を継続し、同学会のマスタを利用した放射線治療レポート構造化記述規約作成に取り組む中。



JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

2020年 5月 JAHIS診療文書構造化記述規約共通編Ver.2.0制定

2015年 8月 JAHIS診療文書構造化記述規約共通編Ver.1.0から約5年

2018年11月 改定A作業項目提案から1年6ヶ月 多数の協力を得ながら完成

改訂概要

- 1) 長年の経験が盛り込まれた退院時サマリー規格の知見を反映
 - ①スキマトロン対応 (C-CDA IGの叙述的記述→見やすい表形式)
 - ②CDAR2に準拠し、曖昧さを極力回避 (細かい制約は個別編で規定)
 - 2) CDAR2に沿った表記法 (氏名、住所)、共通テンプレートの導入
 - 3) CDAR2関連の既存 (北米) テンプレート等参照先の紹介
 - 4) 本共通編関連文書に関するOID体系の提案
 - 5) 個別編への要求事項 (章立て、表形式等)
 - 6) 解りやすく説明を見直す (含むVer.1.0の誤植対応)
- } シリーズとして解りやすく

RIMのバックボーン

- Entities
 - play Roles
 - Which Participate
 - In Acts

■ 例:



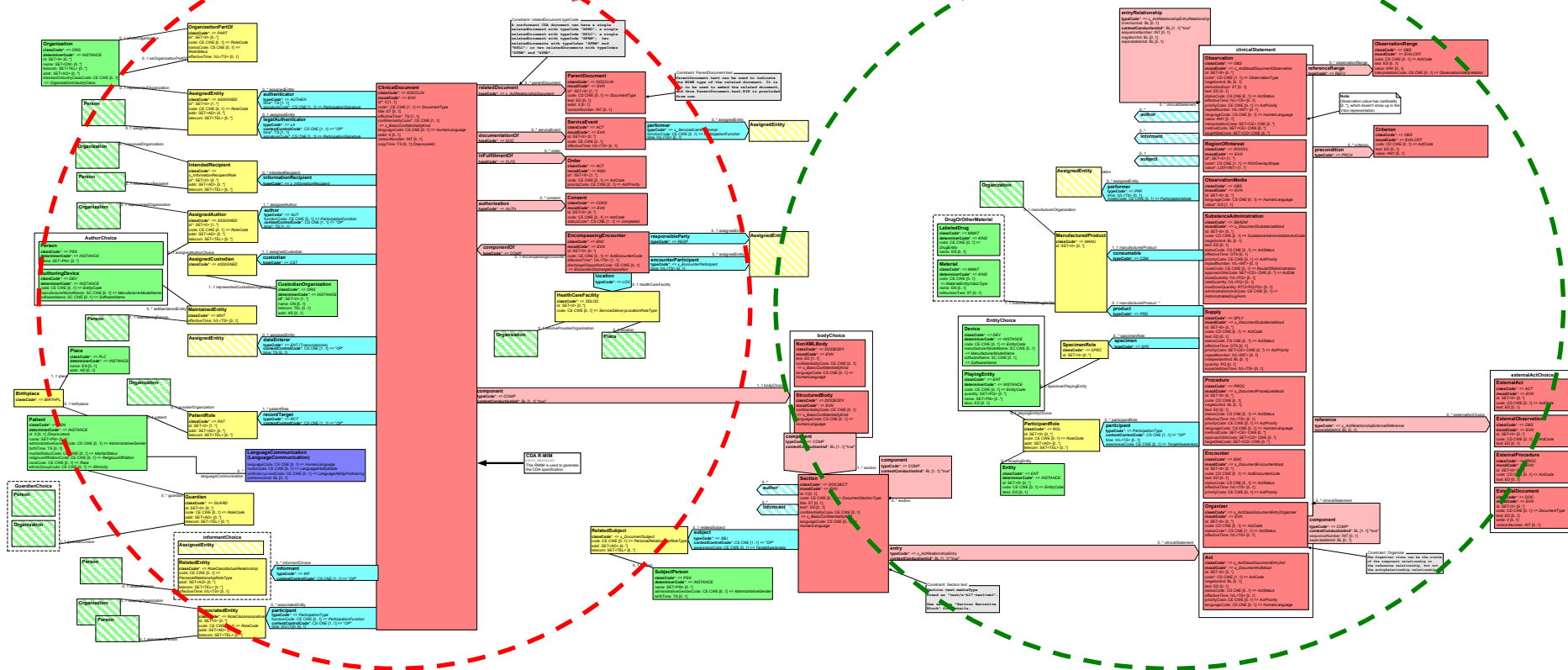
2003/03/05

第13回HL7セミナー

38

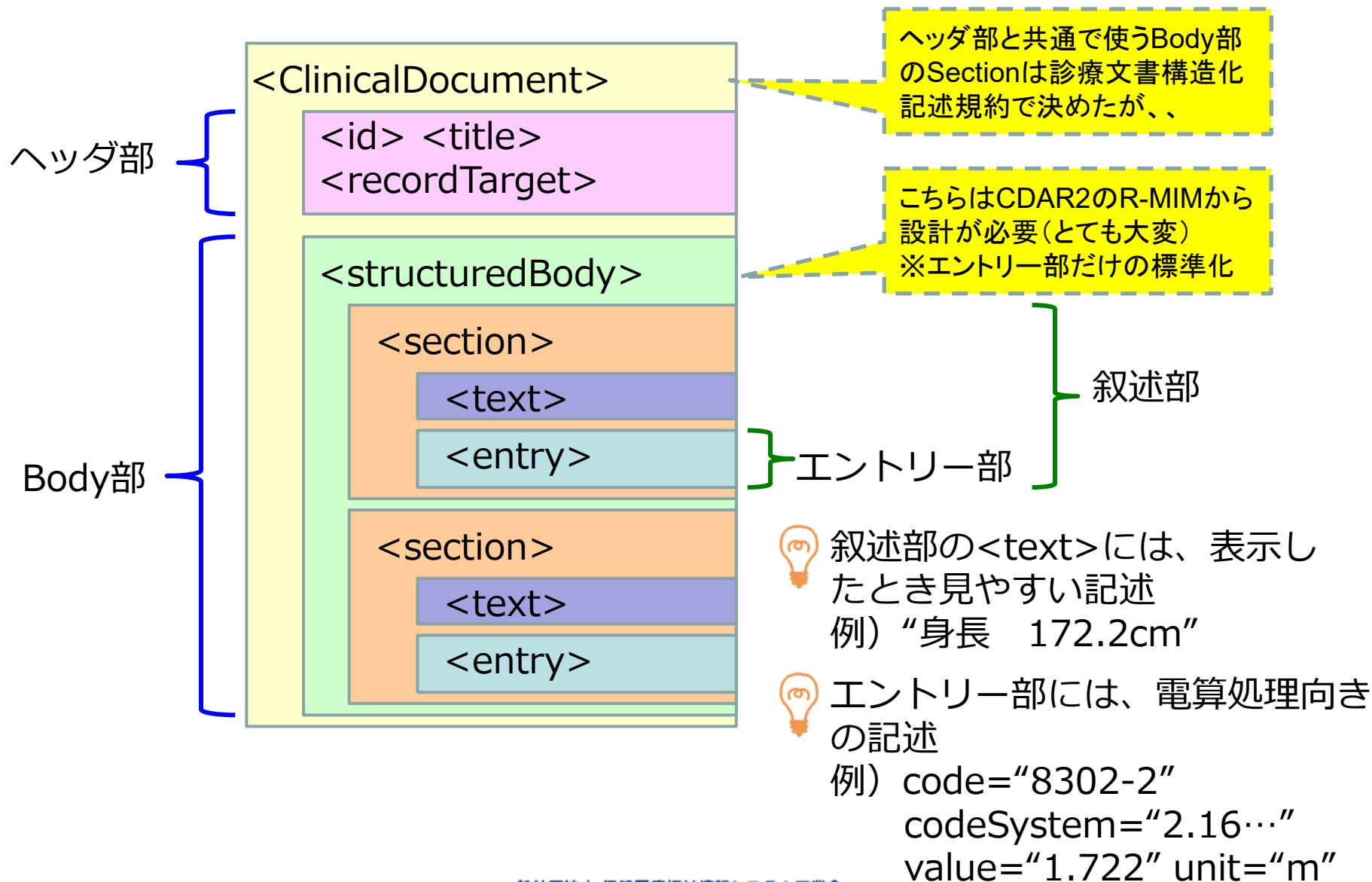
CDA R2 R-MIMでいえば、ここが“共通編” ここが“個別編”

※多くの個別編で共通利用が見込まれる部分は共通編に含む



R-MIM (Refined Message Information Models) :

CDA各要素や情報の定義、関連性を記述した「詳細化メッセージ情報モデル」
CDAの構造や各要素の関連性が分かりやすい。



目次構成



1. はじめに
 - 1.1. 本規約と個別編の位置付けについて
2. CDAの特徴と扱いについて
 - 2.1. CDAの重要な特徴
 - 2.2. 目標および設計原則
 - 2.3. CDA文書の見読性とレンダリング
 - 2.4. セキュリティ、機密性、およびデータの完全性
 - 2.5. CDA 文書の交換
 - 2.6. スキマトロンについて
3. 主な用語
4. 適用範囲
5. 記載の説明
 - 5.1. HL7 CDA R2仕様
 - 5.2. 規定表の記載基準
6. 診療記録共通記述部
 - 6.1. 共通項目・情報記述仕様
7. CDAヘッダ部
 - 7.1. CDA 文書のためのXML記述
 - 7.2. CDAヘッダの構成
 - 7.3. 電子診療文書 “ClinicalDocument”の構成
 - 7.4. ドキュメントヘッダ情報
8. CDAボディ部
 - 8.1. CDAボディ部定義
 - 8.1.1. ボディ部の開始
 - 8.1.2. セクション概要
 - 8.1.3. セクション基本構成
 - 8.2. CDAボディ部構成
 - 8.3. 共通セクション
 - 8.3.1. 患者付帯情報
 - 8.3.2. バイタルサイン

- 付録 - 1. 本規約で使用するコード類
 - 付録 - 1.1. 共通使用するヘッダ
 - 付録 - 1.2. 共通使用するセクション
 - 付録 - 1.3. コードシステムとコード表
 - 付録 - 1.4. ルートOID
- 付録 - 2. スキマトロン適合表
- 付録 - 3. 本規約に準拠する個別編への要求事項
 - 付録 - 3.1. 個別編の基本スタンス
 - 付録 - 3.2. 個別編の目次構成
- 付録 - 4. 電子診療文書に添付するデータの取り扱いガイドライン
 - 付録 - 4.1. 該当電子診療文書にその内容の根拠となった検査データなどのファイルを付帯する場合
 - 付録 - 4.2. 該当電子診療文書に参考として過去データ、文献データなどの関係を記述する場合
- 付録 - 5. 本規約及び本規約に準拠する個別編のOID採番ルール
 - 付録 - 5.1. 基本方針
 - 付録 - 5.2. 基本となるOID
 - 付録 - 5.3. 本規約が推奨する関連OIDの利用体系
 - 付録 - 5.4. 本規約に準拠する個別編のOID採番・利用例
- 付録 - 6. 各種参考情報
- 付録 - 7. 作成者名簿

今後の活動

- 1) 共通編の維持管理
- 2) 新規 LOINC コード等への窓口対応
- 3) 各種個別編の情報共有と開発支援（共通編指定ルールの確認）

※個別編には対象ドメインの専門知識必要

今後の新規開発では、次の順序を推奨

- 1) まず共通編を参照、付録-6の各種参考資料で世界の事例を参照可
- 2) 共通編Ver.2.0に対応した各種個別編を参照
- 3) 必要に応じてCDAR2,C-CDA関連ドキュメントの参照

→個別編の充実とともに開発は容易に、共通部が増えたら共通編へ反映

海外活動強化とJAHIS活動との連携

- DICOM投票案件対応（件数は、2021年1月末現在）
4件のCpack(87件の修正提案)、5件のSupplement(追補)を関係WG、団体と連携・検討し、医療システム部会、国際標準化委員会の審議を経て投票対応を実施、投票結果の反映をフィードバック
- DSC、WG-13、WG-26への参画
DSC(DICOM Standard Committee)、WG-26(Pathology)に参画し、最新動向を収集し、情報発信を実施、WG-13(Visible Light)は開催なし

※DSCではJIRA、JSRTとJapanReportとして日本の活動を報告

※DICOMの使い手、常時募集中！



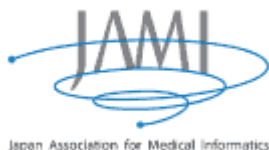
一般社団法人
日本医療検査科学会
The Japan Association for Clinical Laboratory Science
(旧: 日本臨床検査自動化学会)

JCCLS 特定非営利活動法人
日本臨床検査標準協議会
JAPANESE COMMITTEE FOR CLINICAL LABORATORY STANDARDS



HL7
International

臨床検査項目標準マスター運用協議会



JGES 一般社団法人
日本消化器内視鏡学会
Japan Gastroenterological Endoscopy Society

日本病理学会
The Japanese Society of Pathology

日本臨床細胞学会
The Japanese Society of Clinical Cytology

日本デジタルパソロジー研究会
The Japanese Society of
Digital Pathology



IHE
INTERNATIONAL | Integrating the Healthcare Enterprise

IHE
JAPAN | Integrating the Healthcare Enterprise



(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・展開強化。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

引き続き、検査システム委員会主催セミナー、教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました

Let's join us!